(学校運営協議会・報告様式)

令和7年度 第1回 鈴鹿市立清和小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日時 令和7年5月16日(金) 15:30 ~ 16:30

2 場所 図書室

3 あいさつ(学校長、委員長)

委員長 今年度より委員長を引き受けた。学校が良くなるようにこの会議を進めていきたい。

校長 委員長は最長3年までという規約のため、今年度委員長を交代していただくことになり、快く引き受けていただいた。地域と学校の関係もよく、この会議も円滑に進められている。学校運営協議会にお願いしたい役割は、学校への意見をいただく、学校経営の方針を承認する、教育活動の評価をしていただく、の3点。よろしくをお願いしたい。

4 協議内容

(1) 学校経営の改革方針について

- ① 学校経営の改革方針について
- ② 学校自己評価について
- ③ 各種年間計画について
- ④ 学校配当予算について

上記について承認

《委員から》

- ・ SNSやスマートフォンの使い過ぎについてはどのように指導しているのか。
→ 昨年度、拡大運営協議会の中で、すずかこどもクリニック院長から「1時間以内の使用は成績に影響しないが、1時間を超えると成績がぐっと下がる」というデータを示された。スクリーンタイム(メディアやスマートフォン等の使用時間)をゼロにすることはできないので、使用時間を適正に管理する取組として「メディアコントロール週間」を年3回設け、家庭学習とメディア使用時間について啓発している。
- ・ (学校関係者評価について) 三重県では会議の場で話し合っただけで評価をすすめる旨書いてあったが、前もって意見を提出し、まとめられていた。市の進め方は違うのか。

→その場で話し合うと時間もかかるので、スムーズに検討を進めていけるよう、前もって意見をいただいている。

- ・(予算について) 植木の剪定費用が計上されているが、使われ方は？
- ・大きな木は定期的に手入れする必要がある。カイツカイブキが250本ほど植えられているが、枝を落とすとそこからは新しい枝が生えないので、専門的な知識をもった庭師に手入れを依頼すべき。剪定費用は必要。

(2) 清和小学校の様子について

①学校だより「せいわ」について

②古紙回収 及びアルミ缶の回収について

令和7年度も継続する。

③校区、通学路の危険個所について

《委員から》

- ・(保護者から意見のあった箇所について) 中央道路への抜け道として使われている。時速40km制限となっており、狭いわりに車のスピードが速い。通学時間帯に危険だと感じるので、自治会としてもずっと以前から市や警察にはたらしかけているが、なかなか変わらない。
- ・介護福祉施設が移転のため、中央道路沿い飲食店駐車場の南で造成工事が今後始まる。通学路に影響はないか。

→校区内だが児童宅がないので、影響は少ない。注意喚起は必要。

④地域学習

本年度も実施したいと考えている。4、5年生で準備を進めていく。

5 コミュニティスクールアドバイザーから

(今回欠席)

6 全体を通して

《委員から》

- ・チーム清和の5か条、とてもよいと思う。職員同士が思いやり進めていく職場。
- ・「困っているときに助けを求めることができる子ども」についての話があった。自分から言える子にしていく必要性を改めて感じた。
- ・「助けてと言える子」の大切さは分かってはいるものの、わが子には、「決めたなら自分でやりなさい」と言ってしまう。自分の力の限界を子ども自身がわかり、がんばりすぎず、つぶれる前に「助けて」と言えることが大事。助けを求めるもよし、休憩するもよし。そういうことができると、大人になったとき、もっとみんなが生きやすい社会になるのではないか。
- ・「助けて」と声をあげたくても、できない人もいる。普段、病院で勤務している

が、QRコードを読み取ると自分の意見を書ける仕組みがある。助けを求める発信は、声に出して言うのが苦手な子どもには、いろいろな方法を用意できるとよいのではないか。

- 1年生の給食ボランティアにたくさんの方が参加した。1年生の子どもたちが自分たちでできるようになっていくのが身近に感じられた。子どもたちの成長はとても速い。4月いっぱいボランティア期間は終了したが、気になって5月に入ってからも見に行ったが、とてもよくできていたので、「みんな、えらいね。すごいね」と褒めると、とても誇らしげにしていた。みなさんも、自分の立場で気づいたことを褒める声掛けをしてほしい。